

19

19

(19)

19.8.1.

5

19.10.85

柳野徳



八月一日火曜日 晴

休

今日から楽しい夏休みです。

一日の表や、おん度表や、お天気表などを  
作ってから、お部屋のおさうじをし  
ました。朝の海べからのお勉強や、  
計算、れん習などをやる事にきめて  
そのした日は、お忘れしてなかった時は、  
ばつという表も作りました。  
お晝御飯の前や、お夕飯の前に必ず  
草抜き、その他お手傳ひをすること  
にしました。



八月二日水曜日 晴

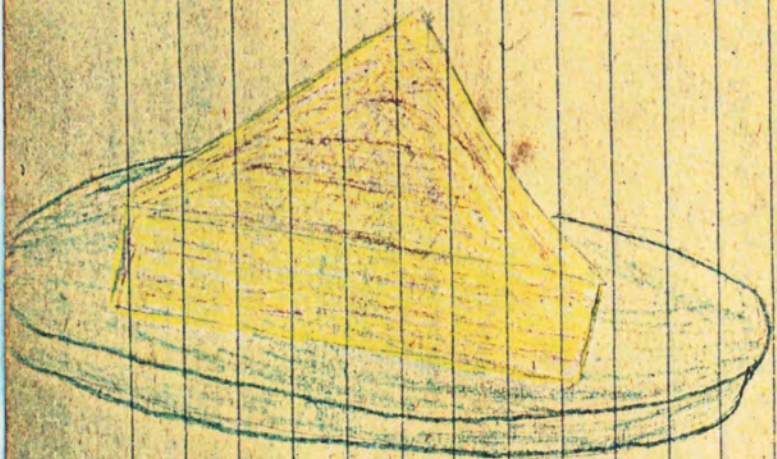
昨日のやうにいろいろな事をしてから御  
飯をいただきました。十一時半頃、お兄様  
とお友達と、おとで、お並ぶールに行きまし  
た。私は子供の方へ、お兄様とお友達は、大人  
の方へおはいりになりましたが、途中で、二人と  
も、私の方へいらつしやいました。私は、學  
校で教へていたおいたばた足をしたり、  
犬かきをしたたり、平泳ぎをしたり、クロ  
ールをしたり、色々な事をしてたり泳ぎまし  
た。深さが、私の、平泳ぎぐらいしかない  
ので、とても、泳ぎにくいでした。





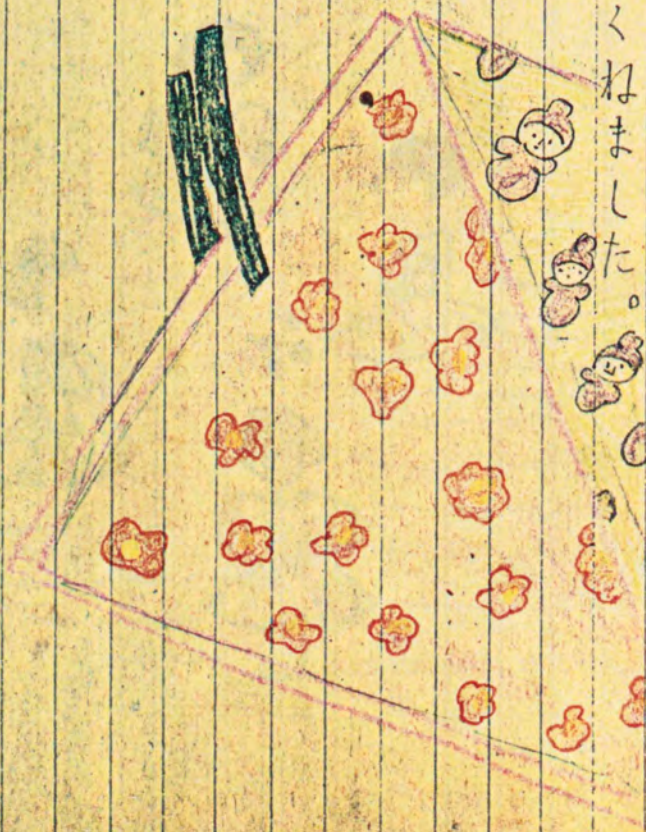
八月三日 木曜日 時

御飯がすんでから少しして、お習字のお清書をしました。それからもうきたなくなってしまうた紙にきりいな千代紙をはりました。二つも三つも箱をはったのでお母様に「徳ちゃん、箱屋さんになる」といわれ、とあつしやったので、「さうゆうわかれ」やないけれど、きをなかにからいしたのよ。といひました。それからお書ねをしました。おやつに、おうちで作ったパンを一きりづついただきました。とてもおいしいでした。



八月四日 金曜日 時

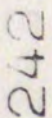
朝御飯がすむとお母様が「徳ちゃん、あのねえ、葉書を入れるものを作ったかどうか」とあつしやったので、私は、「さう水これから作るは」といって、使亥の表紙をいたで作りしました。夕方外がはに千代紙をはりました。まだ葉書を入れる所が出きなかったの、今度する事にしました。夕飯をいたでい、ぬるとけい、けい報のサイレンが鳴り渡りました。私は、すぐ防空服をうきととのへました。防火用水へ水を入れて早くねました。





今日は學校へ行く日です。がけい、  
けいほうがかいじよにならないのて、  
行きまへんでした。十二時半、けい、  
けい報がかいじよになつたので、すぐ  
プールへ行きまへした。おとなの方が  
浅くて水がきれいなので、お兄様と  
二んで大人プールの方へ行きまへした。  
この間の子供プールのやうに、私のむ  
ねぐらゐの深さでしてた。明日學  
校へ行つて、集だんを開きする人  
たちと、おあひできるので、とてもた  
のしみでたまひませんでした。

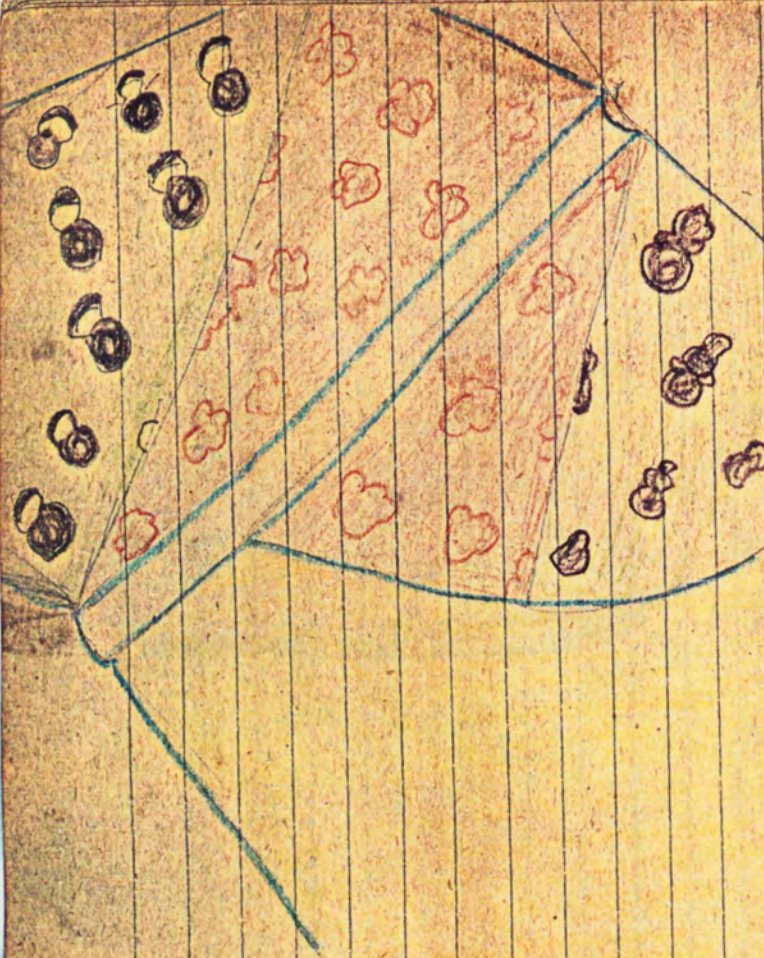
昨日けい戒けい報がかいじよになつたので、學校へ行きました。あまり早すぎで、組中一番に來てしまひまひました。お争玉をしました。お部屋のおさうじをしてから、身体けんさをしました。お晝の間ずっと待つて、二時頃から目のけんさがありました。私は、「よい」といはれました。お水がすんでから、すぐかへりました。おうちへかへると、四時頃でした。お水からすぐ御飯をいたたいて、おやつもいたたきました。





八月廿日月曜日雨

今日は集だんを開をする入たちの保ご者  
です。お母様は七時半頃おうちを出て、學  
校へ行らっしゃいました。おるす番の間お  
兄様とお姉様とで、お庭の草抜きをしな  
り。お勉強をしたり、葉書入れを作った  
りしました。お母様が歸つていらっし  
やいました。色々、又米川へ持って行く物  
を書いた紙をいた。だいていらっし  
やいました。午後から、おうちへお  
いておるものと、お水から、又米川へ持  
って行く物とを分けて、せりりをしまし  
ました。



八月八日火曜日雨風

今日は、第三十一回目の大詔奉たい日です。  
昨日のせりりがまだ一寸のこつておたので、それを  
してから、ハンケチにウツシ繪をうりました。  
それから、色々、算数や、國語のお勉強  
などをしました。お晝御飯がすんでから、お  
手玉をしました。お三時に、パンをいただきます  
しました。とてもとてもあまなくて、おいしいでし  
た。お水から、お庭のおさうじをしました。  
お部屋のおさうじもしてから、夕御飯をいた  
だきました。





六月九日 水 曜 日 晴

朝 勉強がすんでから、すぐ御飯をいた  
だきました。御飯がすんで三十分ぐらい  
休んでから、またお勉強をしました。

お十時に、ドマトをいただきました。お晝  
御飯がすんでから、一時間ばかりお晝ねを  
しました。おきてから、お庭のおさうじだろ  
をして、おやつにおはぎをいただきました。  
とてもとてもおいしかったです。あまくてお  
なかがいっぱいになってしましました。  
それがすんでから、その開のお仕事  
をしました。晩御飯をいただいて、三  
十分ぐらいしてからねました。



八月十日 木 曜 日 晴

今日は少しおねぼうをして、六時ごろ  
になつてしまひました。それから七時まで、  
お外の事をして、御飯をいただきまし  
た。おなかがすいてゐたので、とてもお  
いしいでした。御飯がすんで、すぐ勉強  
をしました。その開のお荷物を作るのべ  
とてもいそがしいです。私もそのお手  
つだひをしました。おさん時には、昨  
日とにてゐるあまいあまい、かぼちゃ  
と、あづきといっしょにいたのをいただき  
ました。夕方いろいろのところのたね  
屋さんへ行きました。





八月十一日 金曜日 晴

朝少し頭が痛ったので、ねました。お昼ごろになると、なほったので起きて、お勉強をしたり、遊んだりしました。あまり日なたには出ないで遊びました。おやつにパンをいただきました。とてもおいしりでした。枝豆もいただきました。とても潮からういでした。それかぐ、お庭へ出て、お仕事をたぐさんしてかぐ、夕飯をいただきました。お風呂へはいつてねました。



八月十二日 土曜日 晴

今日は、先生からいろいろなお話があるので、学校へ行きまいた。朝會がすんてうてん体操場へ集合して、堀先生のお話を聞きました。それから、かく教室のお當番をしました。

私たちは、お教室と、ある生室とに別れてやりました。私はある生室の方でした。お當番がすんでから、朝おはなしになったことを三輪田先生が黒板に書いて下さったので、それをうりました。下校の時きちんと並んでさようならをしてから、そのつづきとらいつてかへりました。

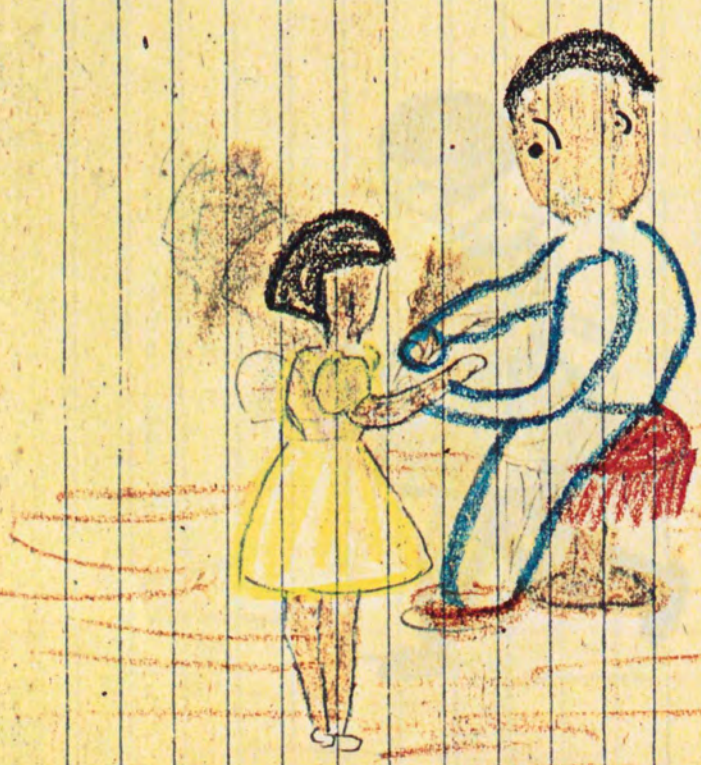




八月十三日 日曜日 晴  
 朝御飯がすむと、お母様が「タクミ  
 やに行つてねえ、セーメン器と、おべんた  
 う箱と、水と、コップに名前を  
 書いてもらいに、行つて来なさい。」  
 とおっしゃったので、持つて行くものを  
 みんな風呂敷の中に入れて、洋服  
 を着かへて、うちを出ました。タ  
 クミは着いたのであづけてかへり  
 ました。電車がなかなかこないの  
 でおそくなつてしまひました。おち  
 ちへかへつて、すぐ御飯をいただい  
 ました。おままだしりました。



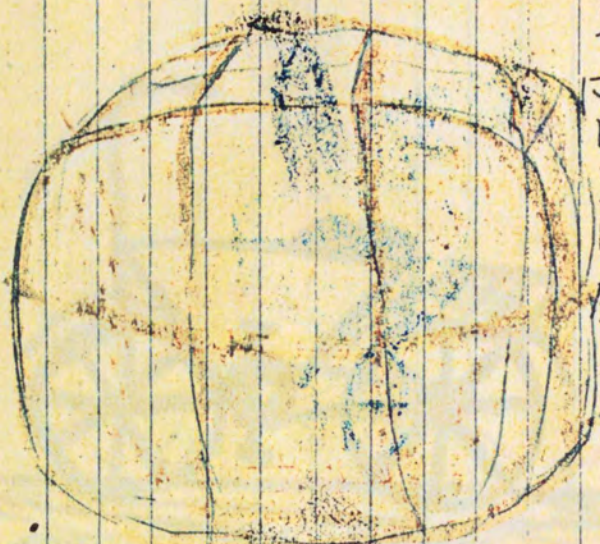
八月十四日 月曜日 晴  
 朝御飯がすんで、お勉強をして、九  
 時頃おうちを出て、原田先生のところ  
 へ行きました。大勢の人が来ていらっし  
 ゃいました。だいふ待って私の番にな  
 りました。私は、第二回目の、ジフテリ  
 アノよばう注射をしやうとだいて  
 かへりました。おうちへ歸ると、もう  
 十時半頃でした。おれから、いろいろ  
 と名前を書してから、おままだし  
 いたました。





八月十五日 又曜日 晴

今日荷物を出したので、みんな入水  
る物を入れて、しばらくしました。車  
屋々に荷物をはこんでもらうはう  
と思つて、おねがひに行きました。が、  
なかなか来ないので、もう一度行き  
ました。それから自分車を取り  
ました。お勉強をしてから、自転車にの  
りました。なかなかふらふらしてで  
きませんでした。夕方、ぼじよ車を取り  
ました。夕方になって、車やがこないの  
で、明日出す事にしました。



八月十六日 水曜日 晴

八時半頃大橋さんが来たので、すぐ  
ひもを強くゆはへてもらつて、お母様  
と、いよいよ驛へ出しに行かれました。  
その間あるす番をしてみました。お母  
様が来て、いらつしやつてから、すぐ、お  
とどけを持って、学校へ行きました。先  
生方が、お勉強をして、いらつしやつたので、すこ  
しお待ちしてから、おとどけをお出し  
しました。それから、急いでかへりまし  
た。おうちへかへってから、すぐ、昼飯を  
いたいただきました。





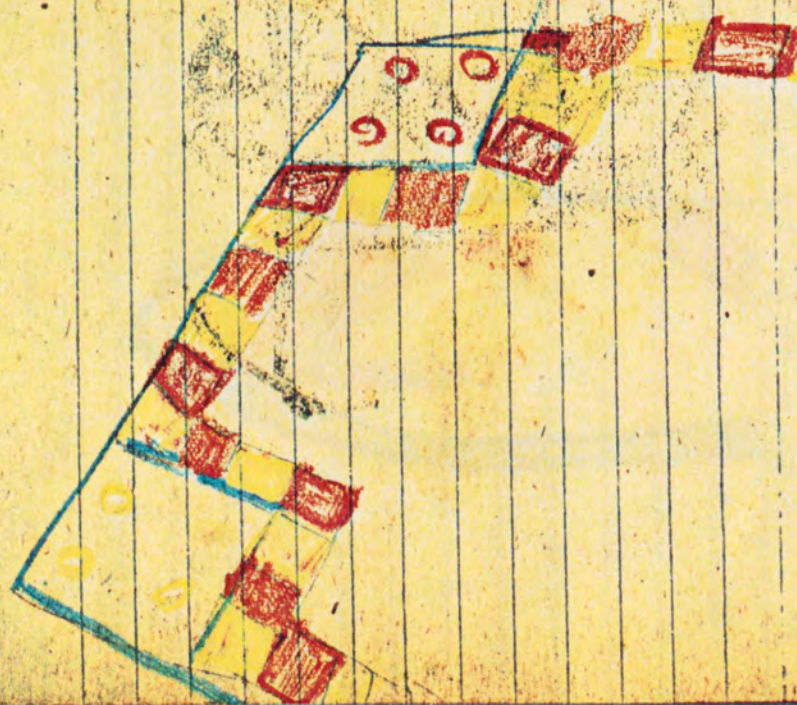
八月七日 木曜日 晴

もう荷物を出したので、とせいで  
いしました。少し足前のれんしゅう  
をしたサしました。自てん車のお  
けいこもしました。おひる御飯がす  
んでおひるねをしてから、お兄様にな  
きな自てん車の後に乗せてもらって、  
セメダインを買ひに行きました。十  
分ぐらいで、行って来てしまひました。  
自てん車はとてべんりだな、と思ひ  
ました。



八月十八日 金曜日 晴

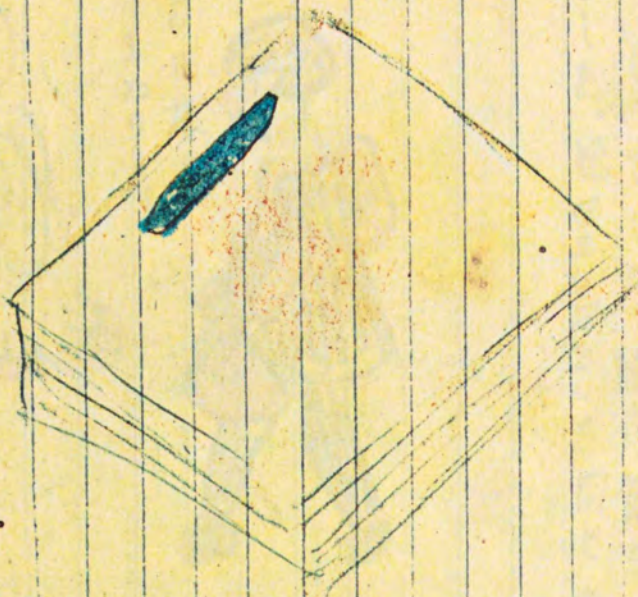
朝九時半頃から、おいしゃ様へ行いま  
した。あまり、こんなで、おませんでした。お  
は、まじやをしていただいてから、かへ  
りました。それから、一仕事をして、おい  
しく御飯をいただきました。お晝御飯  
がすんで、少ししてから、お兄様と飛行  
機ゲームを作りました。作ってから、  
お姉様とお兄様と私と、三人で遊び  
ました。お、姉様が一番お勝ちになり  
ました。





八月十九日土曜日 晴

もううちにおるのも、あと二日と思  
ふと、何となくつまらなくなりました。  
御飯をいただいて、國語のあうつ  
しをしてから、ざつ記帳にする紙を  
集めてとじました。それから、お兄  
様といっしょに、カボチャとトマトと、じゃ  
が芋のしゃせいをしました。お晝  
御飯がすんでから、お兄様とお姉  
様と、私とで、飛行機ゲームをし  
て遊びました。お兄様が一番で、私  
が二番でした。



八月廿一日 日曜日 晴

朝御飯がすんで少ししてから、自  
らん車に乗って遊びました。おうちへ  
かへると、いろいろなごちそうを作っ  
ていらしゃいました。晩御飯の時、私の  
えうべつとして、パンや、ゼリーや、枝豆  
や、おかしや、などを作りました。と  
てもとてもおいしかったです。いつもより  
お腹がいっぱいになったので、お廊下の  
ごうきんがけや、お庭のおさうじをし  
て、お風呂へはいっておきました。





八月二十一日 月曜日 晴

今日はよいよ出発の日です。朝出る時、みんなに、とよなるうと御機嫌をいして、おうちを出ました。学校で、卒業式をすましてから、疎開をする人たちの送かう式をしました。それがすんで、お教室へ帰って、お休んでから、お母様にお荷物を持って、行っていただいたり、私たちが、田馬場まで、みんなで行軍しました。着くと、お母様方がここにいて、荷物を待つて待つて、いらいと、その荷物を受けて、取って、電車に乗りました。久井川に着いて、すぐ晝飯をたべました。とてもお腹がすいていたので、とてもおいしいでした。晩御飯も、早原でいただきました。晩御飯も、同じおふとんでねました。



お母様、行ってまねります。



八月二十二日 火曜日 晴

今日で、だん休生活の二日目です。朝六時前、お部屋のお荷物の整理をして、から、昨日の日記を書きました。お晝御飯をいただいて、から、お手紙を書いて、から、先生にお休をふいて、いただいて、から、お晝飯をいただきました。起きて、から、お手紙を書いて、遊びました。夕方、御飯をいただいて、ねました。



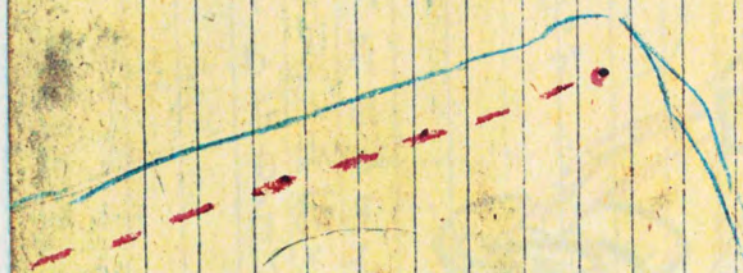






八月二十五日 金曜日

図画の時に、久米川へ来て、生活をしてゐるやうな絵を書きました。理科の時に、みんなが肺に行つて、いろいろな虫や、葉などを集めてきました。私は、蟬の抜け殻を見つけてゐると、かま切がゐたので、取って、三年生の有光さんにお見せしました。もう少しして、歸る時とてもめづかしい小さい虫を見つけてきました。先生の所へ持って行き、お聞きました。あ、さ、い、は、う、の、時、始、め、あ、ま、ひ、を、し、て、か、い、さ、し、ぶ、り、と、運、針、し、て、目、を、ま、し、た、し、は、い、く、し、な、か、つ、た、の、で、お、山、が、さ、が、つ、て、ま、ま、ま、し、た、。



八月二十六日 土曜日

音楽の時はじめ、みんなが、しました。山田長、ま、さ、を、お、習、ひ、し、ま、し、た、。作、業、の、時、は、お、牛、玉、を、し、た、り、お、葉、書、を、書、い、た、り、し、ま、し、た、。





八月二十七日 日曜日

今日は朝會がすんで、耳のおさうじをしてから、つめを切って、頭を洗いました。頭を洗ってから遊びました。午後から、下着、シャツ、下ばき、つ下、ハンケチ、えりなどのおせんたくをしました。たとてもきれいにになりました。足をふいて、おひねほをしてから、お守玉をしてあそびました。その水から、林に行つて、歌を歌ひながら



行進しました。その水がすんでから、田先生にどんぐりと山猫といふ紙をばいばい見ました。とてもおもひでました。

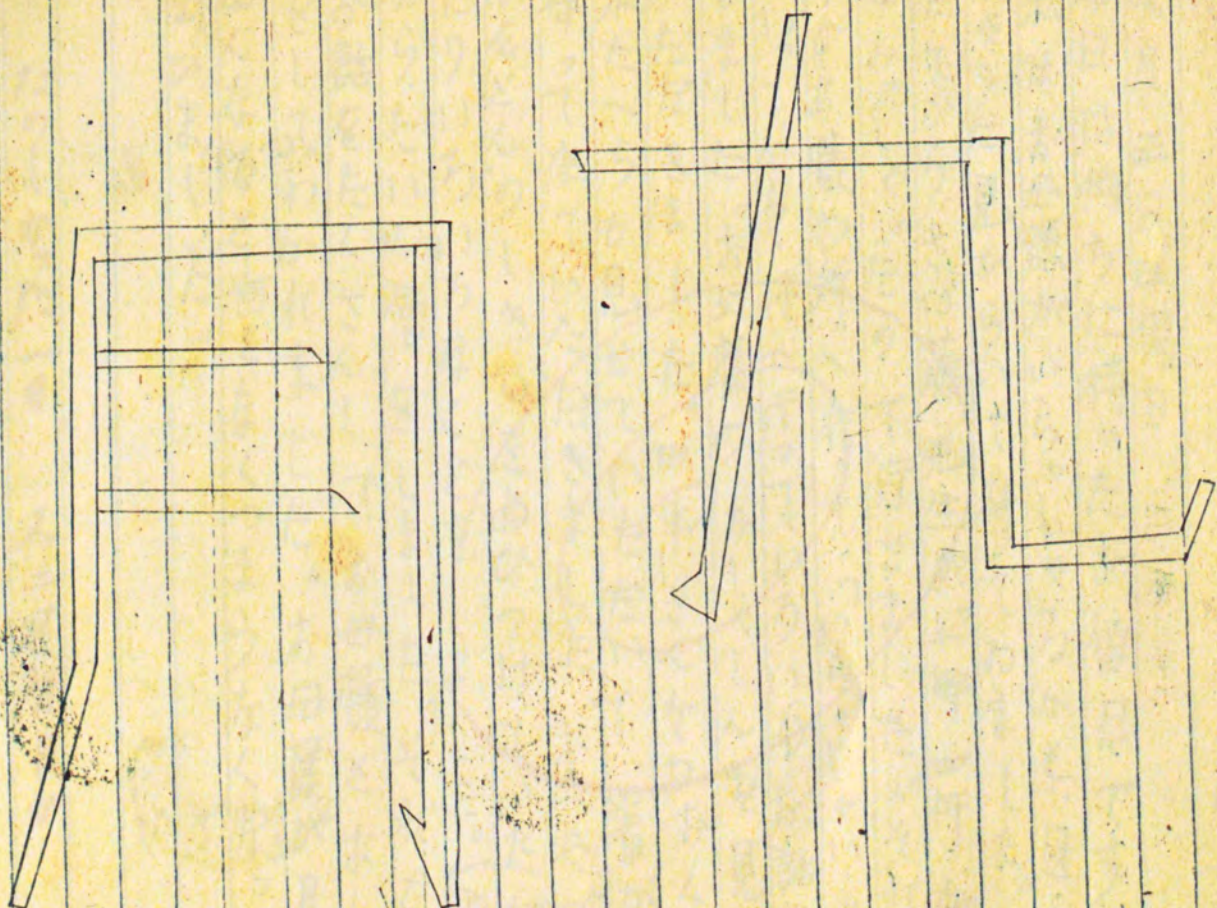
八月二十八日 月曜日 晴

朝會の時、阿部先生からお話がありました。修身の時は、一部三年生の教生の先生にお習ひしました。大神のお使ひといふ所をいしました。お晝御飯がすんでから、みんなと、せくらとくらをして遊びました。夕飯がすんでから、前野さんになはどびのなはをかりして、おまはしをして遊びました。それがすんで、お部屋へ歸つて、お荷物を整へてから、オルガンのそばへ行つて、三輪田先生にオルガンをひいて、ただいて、みんなので、いろいろな歌を歌ひました。その時になったので、お床をひいて、ねま





八月三十一日水曜日  
今日は午後から、むさしのわ、つえう所  
へ行きました。私は、先に院長先生にお  
づきを見て、いたをいてから、ふ長さんにお  
おくすりを付けて、ぬいざ、おとばんそ  
うこをつけていたをきしました。かへて  
から、林で、おづきんのおけいこをしま  
した。夕方までしました。





九月一日 金曜日晴

今日から九月です。

今日はちやうどしんさい記念日です。

今日で、二十一年目です。夕方、林で、たい

わ會日をしました。一番が二部三年で、

二番が一部五年で、三番が二部五年です。

それが、ずんずんから、前田先生と、すが

村先生が、花火をして下さりました。それ

が、すんでから、お邸へかへりました。今日

のたいわ會日はおもしろかったと思ひ

ました。



九月三日 日曜日

今日は待ちに待った面會日です。

私はお母様がいらいらしてゐるかと、目を血

のまうに見ひらいて待ておりました。少し

たてから、さいは藤先生が二部四年、柳野

とおつしやうたので行きました。それから

お母様の所へ行つて、いろいろいひませ

といつてから、林へ行つて、いろいろお話を

めしました。お父様のよしやしんを見せ

ただきしました。田中さんや、おんつて

来たへらも見せていただきました。着かへ

持つて来て、いただきました。おへやであ

ふとんのしきふをぬひつけていた。一時半

たり、いろいろなことをしました。一時半

から、たいわ會をしました。それから、

お話をたくさんして、お母様とよくし

をして、わかれしました。お母様が見え

なくなると、何となくつまらなくなつてし

まひました。

たのしかった一日、又二週間目が

待ちどほしいですね。

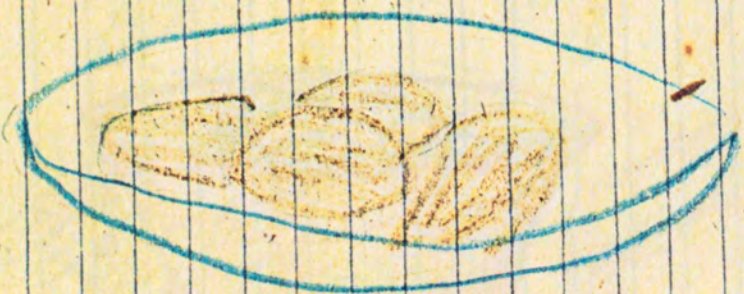


九月 四日 月曜日

午後からねえう所に行きました  
かへって足や手をきれいたしてかいら、  
先生が、あめをきつただきました。とて  
もあまくつおいしうでした。晩前田先生  
が三れんぱつの花火をして下さいました  
ちも白かったです。

九月五日 火曜日

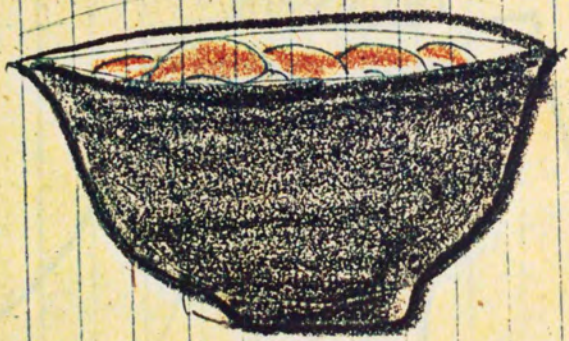
午後は作業で、商物をせりりして、たた  
みをみんなふいてから、ふんもうごかし  
てふきそれがすて、おやつをいただきま  
した。焼きパンが四つでした。とてもとて  
もおいしかったです。いただいてから、お書ね  
を始め、おねると、寺へ先生がいらつしやう  
たので、お外へ出て遊びました。





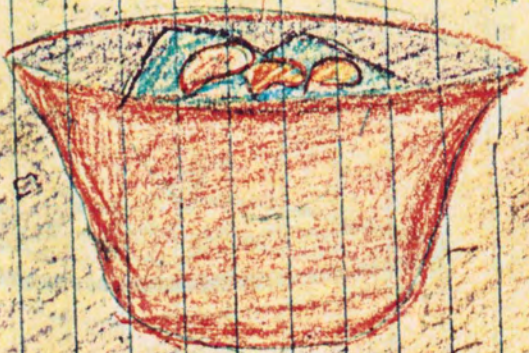
九月六日。水曜日晴

國語の時、ここに來てからの事を作文に  
書きました。私は、その中で、一番楽しい事  
を書きました。作業の時、第二班だけは、  
ごぶじょうのおさうじをしました。  
手を洗ふ水もとりにかへました。  
おやつに、みかんのかんのかんづめに、おさと  
う米をかけていたいただきました。とてもおい  
しくて、あまいでした。



九月七日水曜日晴

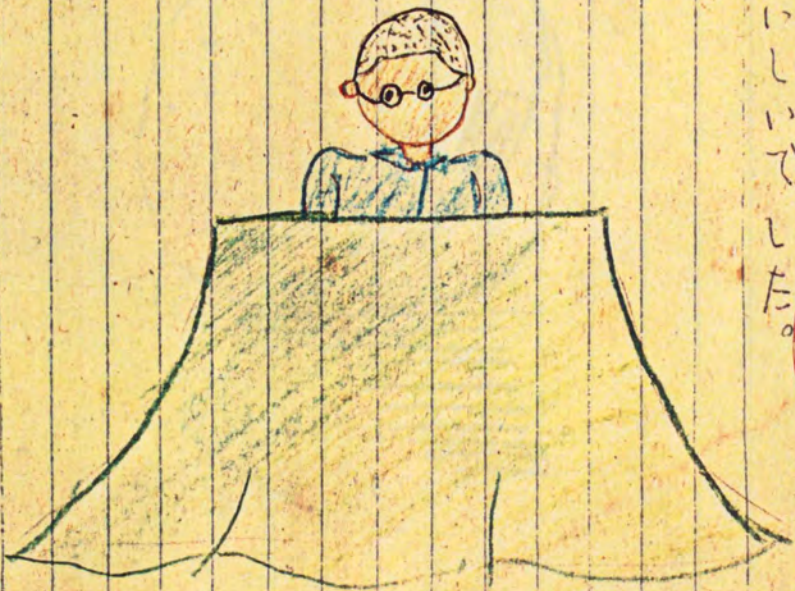
体操の時、林に行つて、赤白に分けて、か  
せんのだんとりをして、赤が勝ちました。  
おやつは、水は、どうのびわをいたがきま  
した。とてもつめたくて、お口になかなか  
はいりませんでした。それから、岩丸先生とい  
つしよに八坂の方へさんぽをしに行きまし  
た。かへりにお花をたくさんつんでかへり  
ました。とてもきれいだつたので、バケツにき  
してをきました。





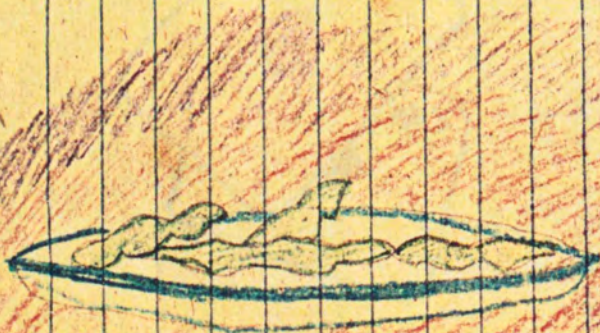
九月八日 金曜日 雨

今日は朝から、雨が降ってゐて、ちみちみうも  
ないやうでした。顔を洗ふのも女学校へか  
きをさして行かなければならないので、八百  
さんと一っしよにしました。おやつの前にあ  
話と歌の会をしました。すがむら先生と、岩丸  
先生に、おもいお話をしていた。体育  
科の教生の先生に、歌を歌っていた。たまま  
した。とてもおどきづでした。おやつはお豆でし  
た。とてもおいしいでした。



九月九月 土曜日

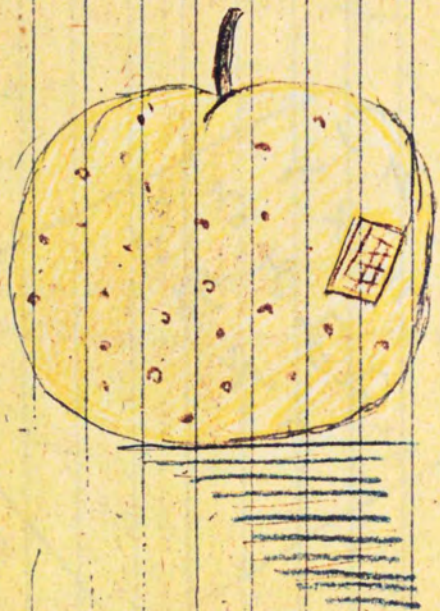
午後から、水うえう所へ行きました。  
かへって、少し遊んでから、枝豆をいただき  
ました。とてもおいしいでした。枝豆  
をたべると、なんだか、なつかしいおうちの  
お庭の島の枝豆を、思ひ出しました。  
晩御飯の時から、ちよこちよこてい、電  
じました。御飯のすむころから、ずつと、い電  
がつづいて、こまったので、みんな、加藤隼戦  
どう隊の歌の水ん習をしました。あかりが  
ついたので、岩丸先生に、お話を  
していた。八時になったので、ねま  
した。





九月十一日 日曜日 晴

今日は、三、五年の同窓会です。四、六年の人は、女学校の跡へ行きましました。私と高橋さんと、いっしょにきのお洗へなかつた物を洗って、から、耳さうじをしました。それから、毎日記で、お葉書きをま言いたりしてゐると、お食事になったので、かへりました。おやつに三、五年生のお母様、おが一人に一つずつをくぐださつたかはをむいてくぐださつた。とてもおいしかった。とてもやりがたくさんあつた。



九月十一日 月曜日 晴

今日は、十以上あできのある人だけが、水うえう所へ行きました。私は今まで、のぞんでゐた、テラボールなんこつなつて、いただきました。かへると、もうちやつがすゑで、ぬたので、高橋さんと、迫本さんと、私と、で、おやつをいただきました。晩八、百谷さんと、迫本さんと、高橋さんと、前野さんと、渡辺さんと、私と、で、トランプをして遊びました。ははは、めきをして、ばばが、高橋さんでした。一番勝つたのは、百谷さんでした。

橋

勝

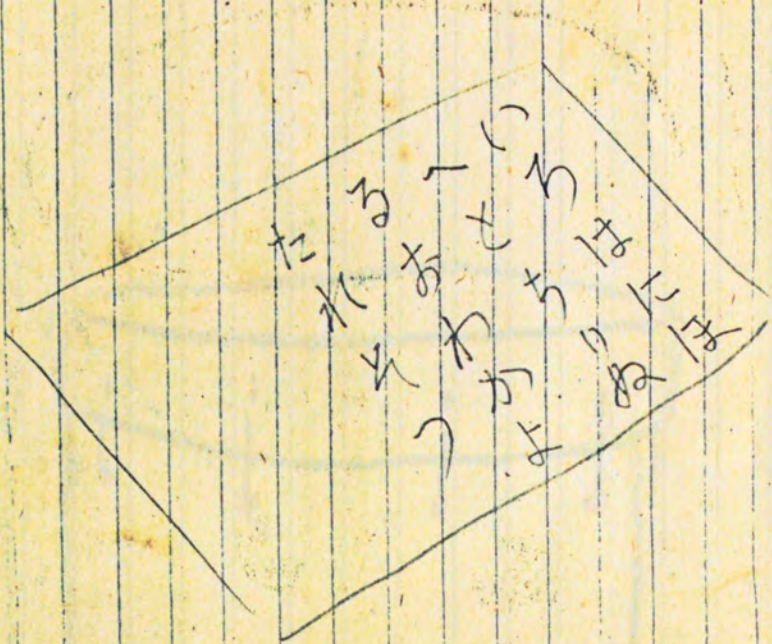




九月十二日

四時間目は、えんひつで、いろはにほへど  
とずると、**國語**の本を見て、書きました。  
お手玉やいろいろな事をして遊んだり、御本  
のせいとんや、荷物のせいとんをしました。  
おるつは、**校豆**をいただきました。とても  
おいしいでした。

枝



九月十二日

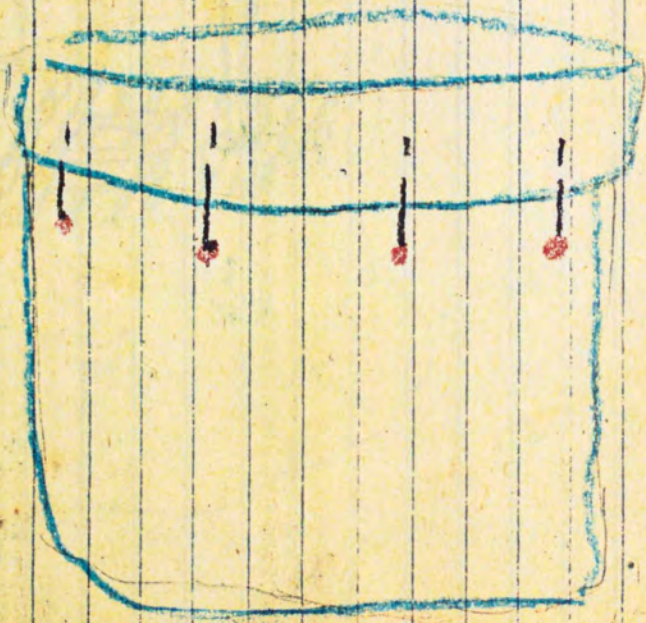
朝毎日の時、この前人脈をさった、石田  
先生がおかへりになって、御あいさつ  
をなさいました。とてもうれしかったです。  
一時間目は、**田**や**矢**を始めて習ひまし  
た。体操の時、**三**年と**四**年とで、おし出  
しをしました。私は、**前野**さんとして、**勝**  
ちました。三年生は、あたりまへだそ  
思っ、あまり**お**びりませんでした。さうです。  
午後から、水うえ **これから先は忘れたの？**





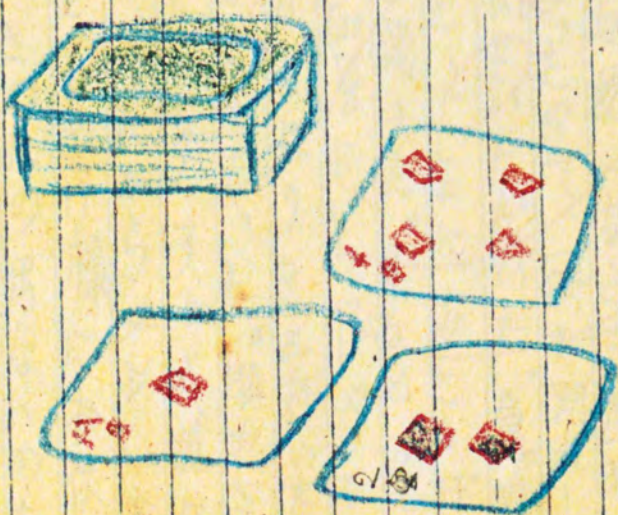
九月十四日

修身の時、昨日出した日記を読みまし  
た。ずいぶん有光さん、きやさん、迫本さん  
※私などの日記を讀みました。  
三時間目は、又、昨日のつづき、おし出し  
をしました。四年生としたので、買付けて  
しまひました。おさいぼ、うの時、衣の三つ  
おりをしました。もう少しでできあがる  
ので、たのしみでした。おやつは、枝豆  
でした。とてもおいしいでした。



九月十五日

午後からおぐきのひどい人のほかみんまで、  
陸軍のほきう廠に草取りにいらいしまし  
た。残った人ははい、たたみをふいて、荷物をせ  
いりして、それから、あき玉、ランプをして遊び  
ました。ぎん行、ペーゾ、などをして、い  
ました。すると、雨が降って来ると、まよな  
く、みんなが歸って来ました。おやつは、白あ  
め、三個でした。





九月十六日 土曜日

もう、面會日の明日にせまって、とても楽しみ  
でたまらない。二、三時間目もするで、御飯  
をいただいた。四、五時間目は、とてもとてもおも  
しろいお話と、歌の會をしました。  
一番、石田大先生の、りっぱな子供たちのお  
話。二番、弘田大先生の紙しばい。正男さんの  
ゆめ。三番、教生、中先生の、合唱。四番、阿部  
名人のしごん。五番、堀先生の、てじな。  
でした。



九月十七日

今日は待ちに待った。第二回目の面會日  
朝から、胸はあどけうておました。  
やと名前が呼ばれて、面會した。  
城戸さん。追走さん。豊島さん。は、今日  
あるこ疎開をなさるのださうだ。みえに  
なってしまう。お母様と話をしながら、お  
水牛のしほりを見せたい。たり、お  
又様お寫真と、紙を見せたい。ださ  
ました。それから着目か、などを整理して  
おると、御飯に上がったので、一時お別れして  
下段に行き、書食といた。食器を  
洗って、又お母様と、しよに、おさんぽを  
しながら、お話を續けた。すると、少し立っ  
て、話合さんが、面會にいらして、お  
話をした。き水、なしほりを三枚、ただ  
いた。みんなお花ばかりだった。堀内さんが  
おかへりになつて、しばらくすると、落合さん  
もおかへりになった。それから、又お母  
様とお話をした。ま、とけ様にお供へ  
するのむと、すすきのほの出ないのを持  
つて、お歸りになった。この間と、同じやうに  
あく手をしてお別れした。今度も又早く  
といふ、おやくとくした。

よかったのね、おいそがしいのにわざわざ  
来てくださるお母様に感謝いたします。



五月十七

すると、弘田先生が、みんな歸つてさびしきうにしてゐるよ、紙芝居をしよう。とあつて、やつて、すぐ始まつた。二つして、下さつた。又片廣やつて下さるさうだ。

晩、い電した。来る時は、一つのおふとんに一人といふのだった。どんなにあげられてもこれには心配をなしたと思つた。床をしん時、はてい電中で、これは私のこればだれさんの。などいひながら、あちおねまきがない。まくらがない。などいひながら、する人が大かつた。三部三年の人が出て来て、うるさい。うちさい明日かになつたらやつてやるから。うるさいなあ。病人があつてゐるぞ。とかいひに來たので、いつそ、さわざがひどくなつた。さいとう先がひけといた時にひかないから、いひけないんだ。とおこりつけるやうにあつて、つた。その晩は、矢張さんのおかづは、八百屋子たまには、柳野もあるでせう。などいふので、なかなかねむれない。それは、軍隊のお食、事の時のラッパだ。その晩は、うるさくてねむれない。よなかごろじように行つた時は、いつ

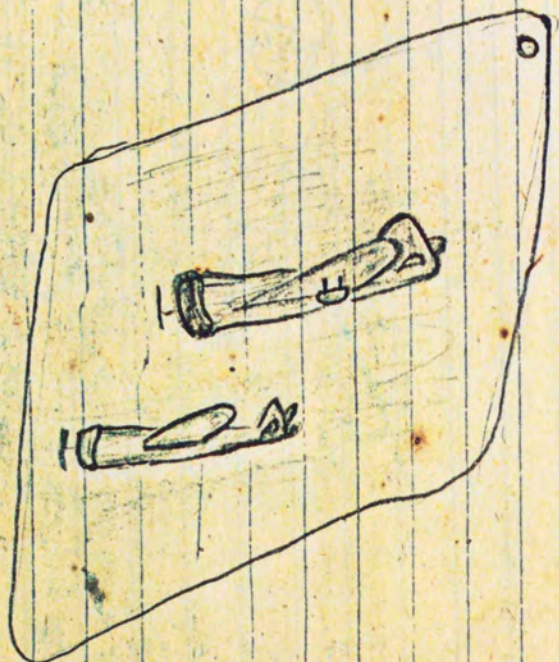
の間、ついたのか、二つこつと電機が  
ついてゐた。





九月十八日。月曜日

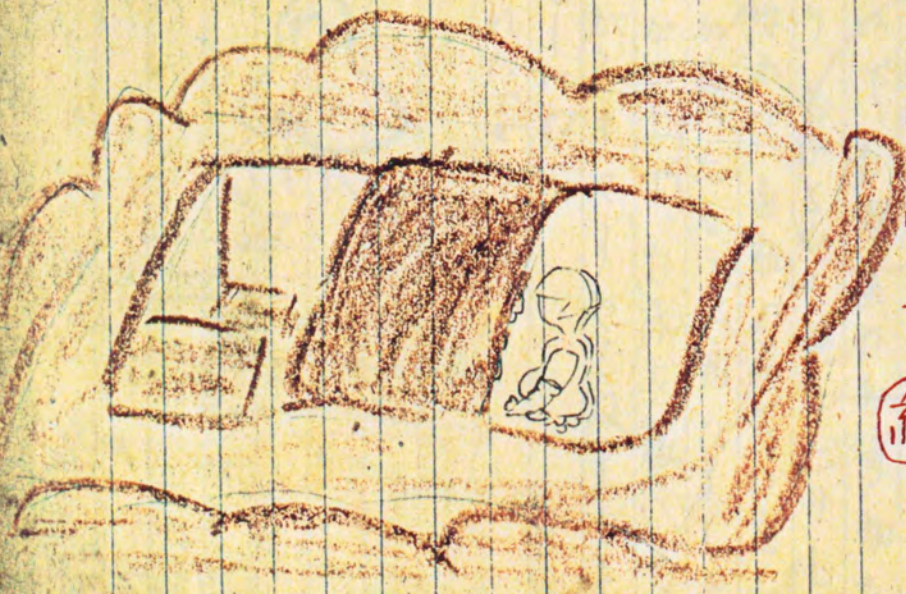
うれしいうれしい面會日。も楽しくおもひろくす  
んで。今日から又この週間が張りうと思つた。  
一時間目もすんで。三時間目は作業をした。  
松傘拾ひ、き切拾ひ。松葉かきをしました。  
晩電氣けして、まっくらのおころで。  
げんとう會がありました。ほまれのおと  
いふのと太東亞戦争といふのでした。



九月十九日。火曜日

午後お昼御飯がすんでござを敷いて  
遊んでゐると、岩如先生が警告或警告報又警告  
とおっしゃった。

私たちは、すぐ防空の用意をしました。度  
にせいれつしてから頭巾、急きゅう衣、水筒、をあ  
いて、防空ごうへはいりあけにこをしました。  
みんな一本の綱につながつて、畑の道を歩くこ  
ともしました。これはアミです。綱、これが綱です。





九月二十日水曜日 曜

今日は第一時間目は、詩を作りしました。  
第二時間目は、算数の時、あしけんをし  
ました。三時間目は、高橋さんと私は治療  
をして、体操見習をしました。衛生室の所から、  
何をひいておるのかな。と思ひながら見て  
おりました。「よいしょ」と掛け聲、勇ましく  
聞えて来ました。  
午後は、小平ぶんしゅうに草取に行きまし  
た。餌り長いのでびくびくしました。根の強  
い草を抜くと、おしりもちをひいてしまひま  
した。かへりにまきを持ちました。



九月二十一日水曜日

今日は朝、會がすんでから、用意をして、すぐ小  
平ぶんしゅうへ草取りに行きました。  
昨日かった草が、大きな大きな山になつ  
ておるのが、あちらにも、こちらにもうんで  
ありました。私は、お目もと張り切って、取り  
始めました。なれたせい、か、こしをぬかし  
た事もありませんでした。  
午後は、小平ぶんしゅうに行くはづだった  
のですが、行かないで、お部屋のお荷物をご  
ごの上へ運んだり、おふんを運んだりしまし  
ました。御飯の時、始めで、お机の上でいただき  
ました。いつもとかはったやうに思ひました。  
晩は、新しいゆかの上で、お床を敷いて、お話  
をお聞きしながら、やすやすと寝ました。  
**氣持よくなりましね。**  
**たさん働いてくれたでせう。**





九月二十二日

今日はうれしい東京へ行く日だ。朝からとてもうれしくてたまらな。面會のやうにうれしい。御飯も早くあんで、おでんたうを先生につめていただいた。おかずは、**塩**からいしめけ。おうちから持って来ていただいた梅干であった。お晝がとてお楽しみな。

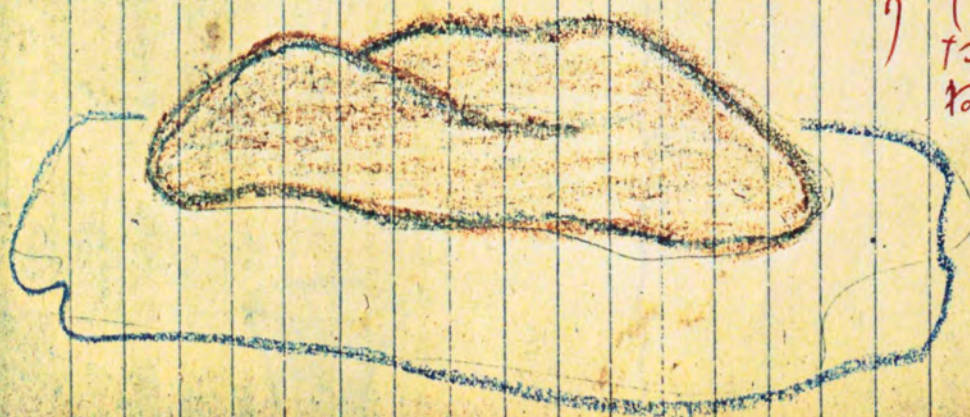
いよいよ出発だ。郊舎にいってまゐります。といふやうにして、**門を歩調**ふをとって出た。

なんどか、おうちへ帰るやうでたまらない。やと東京の町へ出た。**花**の神社におまゐりすると、歩いたって、**わ**は天照大神の代表だ。ここは、神のけいだいである。さっさと出ていけ。ときちかひがいつて出で来た。

それから歩してから、明治神宮へと向うた。必勝の祈願もするで、おべんたうをいただいた。北休けい所へ行つた。おべんたうのあとで、今日残りやう組の人が持つて来て下さった。ふかしパンを一つづついただいた。とてもとても、おいしかった。残りやう組の人は、いつても結食の時このパン二つかなと思ひました。かへりは、代々木驛から、山手線に上るかへった。一ヶ月前の事を、思ひ出した。今日の田舎から東京へ行ったのはとて

もおもしろかった。又行きたいと思った。おこう茶を、はいいた。昨日よりも、もっと甘かった。晩お風呂へはいった。今日のつかれがすっかり忘れてしまった。又ねる時、石田先生にお話をしていた。とてもこはいのだった。

ほんとにたのしい一日でしたね。  
又、一生けんめいにかんぱりませうね。





祭

九月二十三日土曜日 晴 日麗

今日は、叙李皇靈際でお休みの日です。

又、お彼岸のお中日でお目出たい日です。

朝會のあとで、前田先生と、弘田先生にお

彼岸のお話をしていたいただきました。

午前中は、お部屋のせいそう作業をしま

した。すんでから、みんなで、神様に、お供へする

お花をつみに、お供へしました。あざけ。すすき。あ

れもこ。聖類などを、お供へつづんで、かへりす

ぐお供へしました。それか、お供へ書や、原日

記を書きました。

午後は、楽しいお話の會。

もく次は、つぎのようです。

一 お話（あへそ） 山形大先生。

二 紙芝居（初陣） 松本大先生。

三 お話（四十七夜） 弘田大先生。

四 お話（三人の兄弟） さい藤大先生。

五 開會のことば 前田大先生。

でした。

山形大先生のお話は、とてもおもしろく

おもしろいでした。お話會がすんだあとは、

おもしろいおもしろいあまいあまい。おだんごの

はいてないあしるお話をいただきました。

あまいので、はっぺたが、あちさうでした。

つづき

今日は、一日、楽しい事ばかりでした。

ねる前に、山形大先生が、あへそと面會とおっしゃった

ので、さくしました。





九月二十五日 月曜日

このまきとを忘れた？



下



九月二十五日 月曜日  
今日は、朝會がすんで、ほそ引きをかけた  
づけ、向かいの林に行つて先生の前に  
おくなりしました。三輪田先生が、びっくり  
する事をお話をします。とあつたので、  
私ははつとしました。少したつてから、先生がしづ  
かにおつしやいました。  
「先生は、こん月一ぱいでこの學期をやりま  
す」とおつしたので、みんなは、目に涙をためて  
ゐる。先生はつづいておつしやつた。  
私たちは一度にわつと泣きだした。  
先生は、「さあ泣きやんでおさんぽに行きま  
せう」とおつしやつたので、先生のあとについて  
行きました。きれいなお花をつんで歩きま  
した。郊外園に着いて、お風呂の湯汲みに行  
かうとすると、もう神尾先生がくんで下さつた  
ので、お風呂の前で、萬歳峠といふのを讀んで  
いたいた。夕飯前に山本佐代子先生とお  
別れのお式をした。とてもつまらなくて、たまら  
なかった。山本佐代子先生のお歸りになる時、  
大きな聲で「さやうなら」「さやうなら」「さ  
やうなら」といって、お別れした。  
晩げんとう層があった。飛行機とか、戦車  
のばかりだった。



私は、わけがわからないのでお寺玉をして  
おました。先生があらうになるのでもとも  
とも悲しいでした。  
今日は一日中、つまりまじまじとしました。



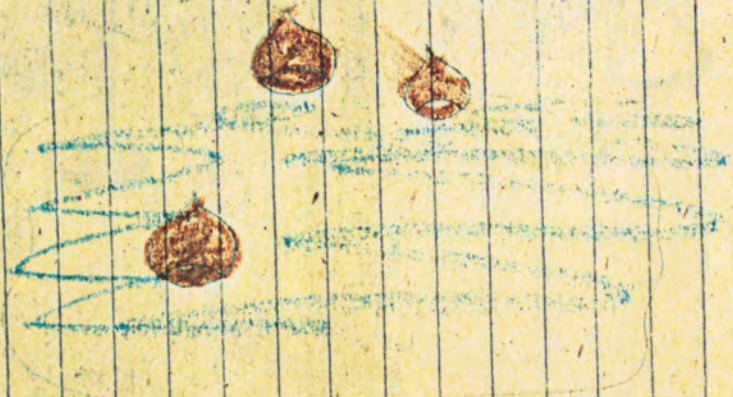
四月二十六日火曜日  
二時間目だけお授業をして、三時間目  
にお晝の御飯をいただきましました。  
〇時二十分にこちらを出て、八平ぶんと  
やうの草取に行きました。  
今日は地面がとてめえたいので、すぐお  
しりをついてしまふので、もんぺの後がまっ  
くろになつておました。今日は、高等科も、  
参加しました。





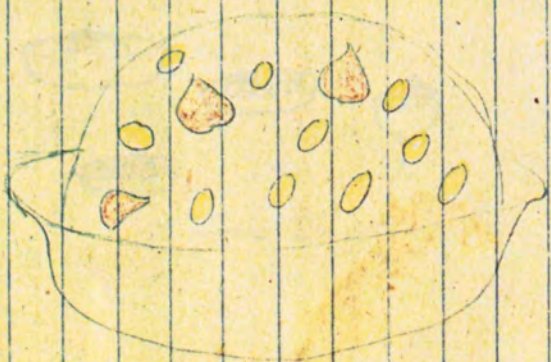
九月二十七日 水曜日

二時間目は、算数の習をしました。  
三時間目は、体操の出来る人は、みんな栗拾ひに行きました。私は、近藤先生にお治療をしていただきました。御飯のたこが鳴ったので、みんなの食器を並べて、石田先生につけていただきました。少しするとみんなが歸っていき、うしろのたこで、すぐいたきました。おやつは、栗をつてした。とてもあまくておいしいでした。



九月二十八日 水曜日

一時間目は、三四年で、常會を開きました。今まであいわくをあげた事を話合ひました。  
二時間目は、書取をしました。百十点でした。三時間目は、うみの話をしていたので、からみんなどの、三色旗戦を見ました。お昼は、五もち御飯でした。とてもおいしいでした。しいたけ・かんぴょうでした。晩は、栗御飯でした。三つはいつてあまりました。お昼と同じやうにおいしいでした。





九月二十九日 金曜日

午前中は小平分りょうの雑草作業に行きました。今日もといきんて草抜を始めた。草はとてもものすごい勢いで、抜けて行きました。

午後は栗拾ひたのしめたのしい栗拾ひ。高橋さんといっしょにくんだ。茶色のが、十一。白いのが二十ニだった。三時になったのでかへった。おねまきを取りこんでから、遊んだ。

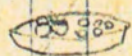


九月三十日

午後から豆取り作業をしてから、かみ洗ひをした。それからお荷物の整理をして、明日持って帰っていただく物を一つみました。

三時頃からつまらないかなしい送別式が始まった。一部四等の人々はみんな泣いた。晩御飯の時、くづ餅。枝豆。ぶどう。柿。五もく御飯だった。とてもおいしかった。

お花もがざった。すんでから、しぎんや、歌やふあを聞きた。ねる時、最後のこもり歌を歌っていた。





十月一日 日曜日

今日はここへ来てから、三回目の面會日だ。

いくらたつても、名前が呼ばれない。

門營の所まで行って待つてゐた。ちよと呼はれた。

あうちのお母様は、高橋のをばさまの次にいらつて  
しやうた。

夏の着返から、冬の手着をいただきました。

日記や、算數の時、にあつたしけんを、國語のしけん  
をお見せしました。おししてから、山口先生が、

一部四年お風呂とあつたので、すぐい

急いではいって、又すぐ歸つた。少しお話をし

てゐると、晝食になつたので、すぐ用意をし

た。今日は、おしやけのくみんづめと、おなの

つけた。とてもあいしかった。

それから、又お母様とお話した。

今日はいつもより早くおかへりになった。





研究

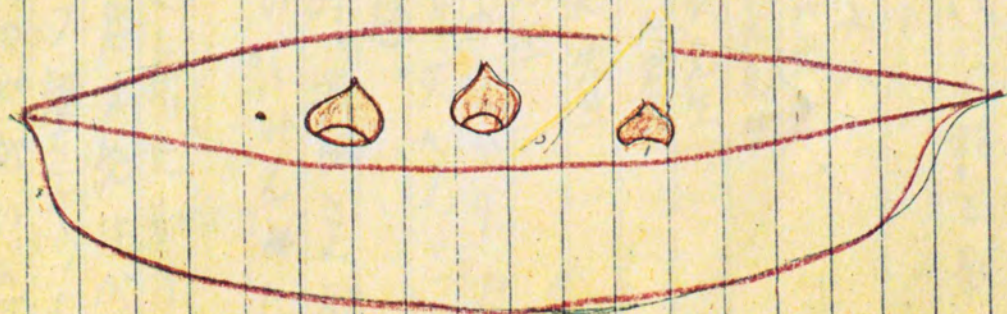
十月二日月曜日

今日は十五夜を。一時間目は三輪田先生  
がいりっしやらないので、日記を書いたリ、  
國語のお勉強をした。三輪田先生へお葉  
書を書きました。

四時間目は林へ行ってくもの研究をしま  
した。こがねぐもや、金色のくものすき見り  
けました。とてもべたべたしました。

五・六時間目は栗掘みをした。とても  
私と、土きさんと、塩谷さんだった。とても  
大きいのは、だれにも負けないぐらいだった。  
今日の晩にいただくさうだった。

それから、荷物をきちんとした。  
き水いになってから、福田先生の新人式  
をした。音楽を教へて下さる先生だ。  
晩御飯には、なしを一切づいたたどと  
あっしやって、丸切下さった。





十月三日

時間目は音楽でしたが、**藤**先生に  
治療をしていただきました。すると、  
坂口さんのお尻がいら、しゃべって、もうじき  
和装も参ります。とあつしゃべったので、飛び  
上るほどうれしかったです。  
御飯をいただいておると、坂口さんがい  
らっしゃったので、もう急いでかきこんだ。  
あまり走ったり、笑ふと、横腹が痛くて  
たまらなくなりまして。  
今日はほんとうにうれしかったです。

坂口さん。



芝

十月四日

時間目は、けさの雨といふだいの詩を作  
りました。  
五時間目はおもしろい「お話と歌の會  
があった。

司會

ハルノ人

1. 助さんかんさん

岩田大先生

2. 紙芝居

喜門大先生

3. 少年歌よう曲

石田長先生

4. 紙芝居

石田大先生

5. 年こうたん

片山大先生

以上

だった。とてもおもひのばかりだった。  
石田長先生のは、のんきな父さんとい  
のでみんなは二度に笑った。

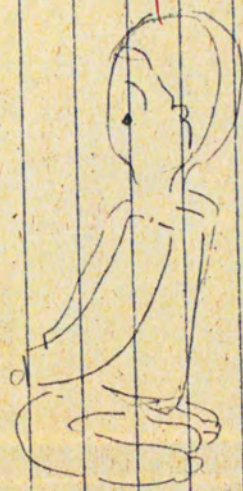
片山先生のこうだんの時、堀田さんと、**藤**  
本さんがねてしまったので、みんなまで  
笑った。

晩おる前と二をしく前にくすぐり  
つこま何かをしてのると、岩田先生があく  
すぐりになったので、もう聲をかうして  
きあきあきわいたりのどがいた人な  
ったので、あくすりをぬってのただ  
いた。



ぬる時、又、水戸黄門のお話をしていただ  
きました。

おもいっきり日下  
だね。



十月五日 水曜日

今日は行軍ですが、又雨でつぶれてしまいました。  
三時間目は水戸黄門のお話のつづきをやって  
いただきました。おかげでたいじといふのでし  
た。待ってゐた育が先生もいらっしやったので  
とてもうれしかったです。  
午後のおきいほうの時に、袋をぬって、ひもも  
ぬって、底のしまつもしました。  
もうじきできるのでうれしかったです。

